

令和5年9月定例会議長開会挨拶

開会の挨拶に先立ち、去る9月8日の台風13号により被害に遭われた皆様に心より御見舞いを申し上げます。

開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日、9月定例会が招集されましたところ、議員をはじめ関係者の皆様方には、御壮健にて御出席をいただき、ここに開会できますことは、まことに御同慶にたえないところであります。

今期定例会は、ALPS処理水の海洋放出により懸念される風評への対策や自然災害に備えた防災力の強化など、緊急に措置すべき経費として、54億1千500万円に上る令和5年度福島県一般会計補正予算をはじめ、各種条例の改正や決算の認定など、県政当面の重要な案件を審議する議会であります。

ALPS処理水の海洋放出につきましては、安全対策に万全を期すことはもとより、新たな風評が復興の妨げとなることがあってはなりません。

このため、国と東京電力には、科学的根拠に基づく正しい情報や本県の魅力の発信を国内外に対して不断に行うなど、事業者の方々が将来にわたり誇りを持って事業を継続できるよう、最後まで責任を持ってしっかりと取り組むことを求めるものであります。県においても適切に対策を講じていく必要があります。

議員の皆様方には、会期中格別の御精励を賜り、県民の皆さんの生業や生活を守り復興を推し進めるための施策等の実現に向けて審議を尽くされますとともに、議事運営につきましても、特段の御協力を賜りますようお願い申し上げまして、開会の挨拶といたします。